



除 草 剤

アグロマックス™ 水和剤

園芸用除草剤

(Agromax™ WP)

農林水産省登録
第19651号

種類名／プロピザミド水和剤

有効成分の種類及び含有量／プロピザミド (PRTR1種) ……50.0%

その他の成分の種類及び含有量／鋳物質微粉 等 ……50.0%

物理的・化学的性状／類白色水和性粉末45 μ m以下

毒劇法／該当なし

消防法／該当なし

有効年限／5年

包装／300g×20袋 ダンボール箱

TM：デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標

特 長

- プロピザミドは、土壌処理により雑草の幼芽・幼根の成長点を阻害し、雑草を枯殺します。
- 雑草発生前に全面土壌処理することにより、イネ科雑草及び広葉雑草までの幅広い雑草に効果を示します。
- 雑草の発生を比較的長期間抑えることができます。

適用雑草及び使用方法

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 10アール当り 使用量 | | 本剤及びプロピザミドを含む農薬の総使用回数 | 使用方法 | | |
|-----------------|-------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|---------|-----------------------|----------------|------|--------------------------|
| | | | 薬量 | 希釈水量 | | | | |
| レタス (秋播栽培) | 一年生雑草 (キク科、 カヤツリグサ科 を除く) | 播種覆土後雑草発生前 但し、播種14日後まで | 200~300g | 70~100ℓ | 1回 | 全面 土壌 散布 | | |
| | | 定植前 | | | | | | |
| | | 定植後雑草発生前 但し、定植14日後まで | | | | | | |
| | | 定植前 | | | | | | |
| レタス (春播栽培) | | 定植後雑草発生前 但し、定植14日後まで | | | | | | |
| キャベツ | | 定植直後雑草発生前 | | | | | | |
| たまねぎ (春播栽培) | 一年生イネ科雑草 | 定植後雑草発生前 但し、収穫45日前まで | 300g | 100ℓ | 2回以内 | | | |
| | 一年生広葉雑草 (キク科、 カヤツリグサ科 を除く) | | | | | | | |
| たまねぎ (秋播栽培) | | | 200~300g | | | | | |
| ブロッコリー | 定植後雑草発生前 但し、定植14日後まで | | | | | | | |
| ごぼう (べたがけ栽培) | 播種後発芽前 雑草発生前 | | 100~200g | | | | | |
| ごぼう | | | 200~300g | | | | | |
| しゅんぎく | 一年生雑草 (キク科、 カヤツリグサ科 を除く) | 定植後雑草発生前 | 300g | 70ℓ | 1回 | | | |
| きく | | | | | | | | |
| もりあざみ | | | | | | | | |
| チコリ | | | | | | | | |
| チコリ(根株) | | | 播種後発芽前 雑草発生前 | | | 300g | 100ℓ | 本剤：1回 プロピザミド： 2回以内 |
| | | | 定植後または中耕後 雑草発生前 但し、収穫60日前まで | | | | | |

上手な使い方

- 定植後散布の場合は、他の農薬との混用や展着剤の加用はさせていただきます。
- 砂土では、薬害を生じるおそれがあるので、使用をさせていただきます。
- 保水性の高い水田転換畑や、イネ後作のキャベツ・ブロッコリー（移植）では、200g/10aの薬量で使用してください。また、11月から翌年3月までの低温期の使用をさせていただきます。
- キャベツ・ブロッコリーでの定植散布では、薬害を生じるおそれがあるので薬液が霧状にならないような低い散布圧（10kgf/cm²を超えない程度）で使用してください。
- 定植後の散布には、土壌処理型除草剤の散布に適した、散布幅が調節できるノズ

ルの使用をお勧めします。

- 軟弱徒長苗、老化苗では使用しないでください。
- タマネギには条件によって葉害を生じる場合があります。下記の条件では使用しないでください。詳細は、最寄りのダウ・アグロサイエンス支店へお問い合わせください。(①11月以後の低温時 ②水はけの悪い土壌 ③砂壤土 ④土壌有機物の少ない土壌)



使用上の注意

- 本剤はキク科、カヤツリグサ科には効果が劣るので、キク科、カヤツリグサ科雑草優占の場合には使用をさけてください。
- 本剤は雑草の発生後では効果が劣るので、散布は必ず雑草の発生前土壌全面に均一に行なってください。
- 砕土、整地、覆土は丁寧に行なってください。特に水稲後作や水田転換畑では、土壌水分が適湿な時に丁寧に耕起作業を行なってください。
- 極端な乾燥土壌または過湿土壌での使用はさけてください。特に水稲後作や水田転換畑では、畦間に水がたまるなど、過剰な土壌水分条件下での使用はさけてください。
- 散布後に降雨が予想される時は使用をさけてください。
- 散布は噴霧状にならないよう注意してください。特に定植後処理では吐出圧を上げて土壌全面に均一に行い、重複散布をさけてください。
- 砂土や礫を含む土壌での使用はさけてください。
- 定植後散布の場合、他剤との同時施用や展着剤の使用はさけてください。又他剤との近接散布の場合、少なくとも前後一日の間隔をあけてください。
- ごぼうのべたがけ栽培では葉害が生じやすいので、注意してください。
- 移植をする作物では、根が露出するような浅植えをさけ、丁寧に移植を行なってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。散布器具の洗浄水などは、河川などに流さないでください。また、空容器などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。



安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は、保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は顔・手足などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

保管…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。